



令和4年11月9日

各位

会社名 株式会社アビスト
代表者名 代表取締役社長 進 顕
(コード：6087、東証プライム)
問合せ先 執行役員 経営企画部門長 藤田 知哲
(TEL 0422-26-5960)

中期経営計画の変更に関するお知らせ

当社を取り巻く社会的な環境は、日本の労働人口減に伴う技術者数の減少、顧客の技術的な要求値の高まり、規制緩和および情報化の進展による人材の多様性の促進や全世界へのサービス提供の容易化、など大きく変化しております。当社は、中長期的な視点で持続的成長を果すために全社戦略を見直し致しました。既存事業の強みを生かしつつさらに発展させ、デジタルを活用し顧客ニーズに応えるソリューション提案型の企業『デジタルソリューション企業』への転換を図ります。

今般、全社戦略の再策定に伴い、令和3年11月10日に開示した中期経営計画を見直し致しました。なお、中期経営計画の詳細につきましては令和4年12月23日に開示予定です。

記

1. 数値目標 (連結)

	第18期 (令和5年9月期)	第19期 (令和6年9月期)	第20期 (令和7年9月期)	第21期 (令和8年9月期)	第22期 (令和9年9月期)
売上高	9,900百万円	10,400百万円	11,100百万円	11,900百万円	12,500百万円
営業利益	740百万円	710百万円	900百万円	1,100百万円	1,300百万円
売上高営業利益率	7.4%	6.8%	8.1%	9.2%	10.4%
経常利益	740百万円	710百万円	900百万円	1,100百万円	1,300百万円
当期純利益	610百万円	590百万円	600百万円	740百万円	910百万円

2. 目指すべき企業像・中長期ビジョン

『デジタルソリューション企業』

- ・長期ビジョン：デジタルでものづくりに貢献する企業
 - ・中期ビジョン：設計を基軸にしたデジタルソリューションを提供
- ※長期を5か年超、中期を5か年以内で想定しております。

3. 新たな戦略的取組み

①既存事業の更なる発展や付加価値の創造

- ・軽量化設計技術の発展（EV化により車体軽量化ニーズ など）
- ・ソフトウェアや電子部品開発、組込/制御ソフト開発の分野拡大（自動車の電気制御化）
- ・環境配慮設計（リサイクル配慮構造や廃棄物管理しやすい構造）

②解析事業の拡大

- ・解析ソリューションの深化（解析ノウハウ蓄積、実機データとの整合性検証）
- ・試作レスに資するソリューションの提供（解析×ARなど）

③顧客向けDXソリューションの複数展開

- ・設計に関連する新しいアイテムの継続的な開発

④オフショア開発を含めたグローバル展開

4. 戦略的取組みを実現させる施策

- ・経験者採用を含めた即戦力となる技術者の獲得
- ・技術者教育の抜本的見直し
- ・資本提携・事業提携の推進
- ・システム入替による業務効率性向上

注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上